

革新・愛知の会結成40周年シンポジウム 語り合おう！ コロナ後の日本と革新懇の未来



『語り合おう！コロナ後の日本と革新懇の未来』（シンポジウム）は10月

11日開催。始めに大島良満代表世話人があいさつ。座長は知崎広二愛労連議長。参加者は60名。ZOM参加者1名も。「あなたもパネリスト」、会場から15名の発言があっ

問題提起

村上俊雄事務室長提案

① 社公合意による革新懇運動の結成。革新自治体が崩される中、社会党が統一運動から離れた②安倍政権の暴走との対決で

た。歌あり、会員外の方の発言もあり40周年にふさわしいものになった。

大衆運動、野党共闘が進む。3回の参議院選、衆議院選を野党共闘でたたかう。いまや政権交代をめざす状況に③コロナ禍からグローバル企業を放置していいのか、コロナ対策で改めて新自由主義の弊害が見えてきた④いま革新懇運動に求められていることを論議されたい。

パネリストの発言から

古川大暁（民青同盟）

800名の青年との対話で浮かんできたこと。①コロナでの生活・学業への不満。多くの人が政権交代を求めている②きびしくとも憲法上の権利は主張していい③革新懇には批判だけでなく希望を語ってほしい。

武藤佳子（うたごえ協）

① 1917年以來の合唱団が自粛に。練習・発表も中断に。ユーチューブで活動を配信している。仲間からのカンパに支えられている。菅内閣の学

術会議への介入は学問・文化への統制だ。

酒井俊一（トヨタ系職場革新懇）

百年に一度、生きるか死ぬかを問われる職場に。ガソリンを使う車がなくなる。40歳以上の人は賃金が青天井であがる人とうではない人に分かれる。職場では頑張らない人は下げるべきとの声も。過労死は認定された人だけでも5人。

津田康弘（名古屋市職労）

名古屋市中では毎年、職員が削減されてきた。コロナ対策で仕事が増えているのに人手が足りない。名東区役所で生活保護を求める人に対応していた職員が刺される事件も。背景には定数削減がある。コロナ禍以後、公共サービスの必要性が大きく問われることに。

見崎徳弘（瑞穂区革新懇）

4区で政策（要求）づくりを行い討論会を行った。基本姿勢プラス15項目を各野党に提出した。一人ひとりがおかしいこ

とはおかしいと発信することが大切。明日の政治を変える統一戦線をつくる必要がある。

会場発言

あなたもパネリストから

西村秀一（緑平民懇）

菅政権は安倍政権よりこわい。我々にまず自助を求めている。岩の上教会の牧師によれば任命拒否された6人の内1人。京大の研究者は国立大で唯一のキリスト教学者。3区では政策づくりを八事でアンケートで要求をつかむようにしている。

中西八郎（南区革新の会）

2017年よりつなぐ会を毎月やってきた。全会一致制で少数意見を聞くようにしている。牧さんを統一候補にするなら謝らせないのかとの声も。「小異を捨てて大同につく」ではなく、「小異を持って大同に」。連合政権が出来たらどうなるかを語りたい。

大山晴久（県職トーク

の会）いまは狂ったように活動している。この間、4回チラシをつくって訴えている。配布回数も増えている。いまでは3分の1の人がとってくれている。出来たら本庁の前でも配布したい。政治を変えて職場を変えたい。

石原幸（みなと革新懇）

緑の党の尾形慶子さんと懇談した。いくつかの新しい発見があった。もつという人々と懇談することが大切。会員が4人増えた。

まとめ

田辺準也代表世話人

① 市民と野党の共闘について貴重な発言があった。40年間、活動を続けてこられた人たちの苦労が偲ばれる。② 菅政権は安倍政権を上回るひどさ。総選挙に向け、大いに政治を語ることが大切。政権交代を！

直ちに任命拒否の撤回を！——学問の自由への介入に抗議する

2020年10月21日 革新・愛知の会代表世話人会

(1) 日本学術会議の会員推薦を菅首相が任命拒否したことは日本学術会議法の「独立して職務を行う」、「推薦にもとづき任命する」等の立法の精神(国会答弁)にも反するものです。学術会議会員6名の任命拒否は、権力による学問・研究への介入そのものであり言論・表現の自由を脅かし「戦争できる国」への危険な狙いがあります。

(2) 日本学術会議は、「科学者の総意の下にわが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献すること」に基づいて1949年設立されました。日本学術会議法は日本の科学が戦争に利用され、戦争を推進する役割を果たしてしまったことへの痛切な反省に立って制定され「学問の自由」を保障するために政治からの独立性をさだめています。今回の任命拒否は政治権力の介入という重大な問題

(3) 自民党が日本学術会議の在り方を検討するとしてプロジェクトチームを作り、日本学術会議を「行政改革」の対象にするとしています。これは、学術会議の在り方と任命拒否は別問題、全くの問題のすり替えで許されるものではありません。

(4) 私たち革新・愛知の会は、①暮らしを豊かに②民主主義の発展③平和な日本をめざして「国民が主人公の政治」をめざして活動している団体として、国家権力が学問の自由に介入することは断じて許すことができません。

菅首相による理由を上げることなく既成事実化する手法は、問答無用の権力政治そのものです。今回の菅首相の行為に対して私たちは断固として抗議します。推薦から外された6名の任命を強く求めます。また、任命拒否理由を明らかにすることを強く求めます。

菅首相は、第二は、プロ野球、大相撲「勝ち負け」に徹底的にこだわる人間です。大学で三回も留年しました。将棋の修行に打ち込んだのが主因です。大学生名人、アマ有数の強豪になりました。

私の趣味の第一、第二は、将棋、囲碁。見て楽しむスポーツの第一、第二は、プロ野球、大相撲「勝ち負け」に徹底的にこだわる人間です。大学で三回も留年しました。将棋の修行に打ち込んだのが主因です。大学生名人、アマ有数の強豪になりました。

その私が尊敬してやまない勝負師は、将棋の第十五世名人、大山康晴さんです。大山さんは形勢不利でも地道に挽回を図り、「勝負手」を極力避けている感じでした。私も「勝った負けた」にとらわれて半世紀以上暮らしてきました。「勝負手」はリスクが大きい。失敗すると酷いのです。骨身に染みています。

一方、自治体の首長は、自治体関連の選挙の時期が決まっているので、勝負手には出にくいですが、しかし、大阪の維新は、大阪都構想を掲げた住民投票という「勝負手」を2回も仕掛けました。接戦で連敗した維新は、絶好の反面教師だと思います。

選挙は、民意をつかんでいるかどうかで決まります。「勝負手を使わないですむように普段から地道に活動して民意を引きつける」。この徹底が最重要。私は、共産党や立憲民主党が掲げる「新自由主義・市場原理主義では駄目」という考え方に深く共鳴しています。普段付き合っていない人にもできるだけ多く語りかけましょう。この考え方を徹底的に広げましょう。



白井康彦

フリーライター・

近ごろ
思う
こと

60

勝負手には 頼らない

白井康彦さんは2020年2月号インタビューに「違法な生活保護基準引き下げ」「裁判で明らかな」と語っていた